

第6回米原市定例教育委員会

日 時：平成27年6月23日
午後3時開会
場 所：近江図書館 談話室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 小路委員 本庄委員
山本教育長
教 育 部 長：田中部長
教 育 総 務 課：仲谷課長 藤岡補佐
学 校 教 育 課：岡田課長
生 涯 学 習 課：宮崎次長
歴 史 文 化 財 保 護 課：桂田課長
学 校 給 食 課：森田課長
函 書 館：雨森館長
書 記：西村

(欠席者)

教 育 委 員：河居委員長職務代理者

1 開 会

2 委員長あいさつ

久しぶりに庁舎から場所を変えての会議になります。移動するのは大変ですが、年に何回か場所を変えて開催したいと思います。

もう6月の下旬になってしまいましたが、ここひと月を振り返ってみて、教育長からは学校では特に大きな事もなく順調に今日を迎えていると聞いています。幼稚園、保育園等は、明日から園訪問が始まりますので、実際に園やお子さんの様子を見せていただけるので楽しみにしています。

教育委員にとっては、なかなか情報が入ってこない訳ですが、唯一各校園の学校便りで学校の動きが良く分かります。最近では、中学校なら中体連の結果や、職場体験、修学旅行時の子ども達の様子、5月はPTA総会についてどこの学校にも掲載されていました。以前、学校便りは学校をPRするものだと話させていただきました。学校の目指す努力目標、管理者の校長の経営のねらいどころなど掲載されており、どこの学校も良い便りになっています。全体的に良く目立つのは、学校支援ボランティア募集の記事です。実際にどれくらい学校ボランティアに協力してもらっているのか、実態を1学期にまとめていただければ良いと思います。

3 会議録承認

5月定例会

4 教育長報告

○ 6月議会一般質問では、生涯学習課はスポーツに対する質問、教育総務課では学校グラウンド整備と市奨学金貸与条例の見直しについて質問がありました。

昨年3月にスポーツ推進計画を策定しました関係上、今後の市のスポーツのあり方や、審

議会の状況等についての質問に対して、市民向けに市は次期国体に向けてホッケー競技を受け入れる。そのために、今からホッケーの全市的な強化、普及に取り組んでいきたい。そして、国体は9年後なのですが、その3年前に関西ワールドマスターズゲームがありまして、これについても滋賀県がホッケー競技を受け入れていく方向であることから、米原市としても受け入れを検討するというところで、表明させていただきました。それに伴って、今から市のスポーツ振興を図るというところで、スポーツ発信拠点を庁舎内から外へ出してでも作っていきたいとの話もしており、今後、庁舎内の協議も含めて、どのような体制でいくか協議を進めていくということ、さらに、スポーツ少年団やスポーツクラブのあり方についても一つの過渡期にきていることから、課題整理と今後のあり方について関係団体等と協議していきたいと話をさせていただきました。小中学校のグラウンド整備についても、最終的には国体に向けた整備ということになりますが、具体的には米原市には一定のスポーツ施設は学校施設を中心として整備は整っていますし、県有施設も改修等行いながら効果的に有効活用を図っていきたくてと答弁させていただきました。

奨学金については、子どもの貧困と奨学金ということで、できれば見直して給付型の奨学金にできないかという御意見をいただきましたが、学生さんに将来の目標を持ってしっかり勉学に励んでいただく、奨学金は当然貸付であり返還することが学習の意欲、将来設計に繋がるということで見直しはしませんと回答させていただきました。

- 教育総務課では体育館、ランチルーム等の非構造物撤去と、米原、息長、春照の3つの小学校のトイレの洋式化について入札が終わり、工事着工の準備ができました。夏休み中に終わる目処を付けていきたいと思えます。
- 学校教育課では教科書採択協議会が長浜と米原の構成メンバーでスタートし、委員長と私、そして米原市の保護者2人に参加していただいて、第5ブロックとしての教科書採択協議会をスタートさせまして、現在調査活動をしていただいています。7月14日の協議会で採択されまして、市教育委員会で最終決定していただくこととなります。
小中学校の人事訪問が昨日で終わり、保育園と幼稚園の園訪問が明日から始まります。また、特別支援学級の子どもの交流会として焼きそば交歓会を開催しました。教育センターでは6月初旬に組織リーダー研修をしました。先週開催された全国ほたるサミットでは、山東小児童が学校での取組について発表し、開催1週間程前のほたるパレードでサミットのスタートに花を添えてくれました。
- 生涯学習課では5月31日に入江干拓マラソンが開催され、ホッケー伊吹カップが体育協会の事業として開催されました。
人権教育推進協議会の総会や、社会教育委員会議を開催しました。社会教育委員さんは、この27年度から28年までの2年間の任期となります。活発な御意見もありますので、意見を聞きながら市の生涯学習の推進を図っていきたくてと思えます。
7月28日から全国びわこ総合文化祭が滋賀県で開催されます。市内会場は米原公民館と文化産業交流会館で、将棋と新聞の部門に全国各地から高校生が参加しますので、御参観下さい。文化のインターハイというイメージでとらえてもらえれば良いと思えます。
- 歴史文化財保護課では10月24日、25日に開催する全国山城サミットのプレ大会として6月7日に鎌刃城祭りを開催しました。午前は鎌刃城、地頭山に登っていただいて、午後は講演会を開催したところ100人を超える参加者がおられました。6月26日の夕方に全国山城サミットの実行委員会を開催します。
- 学校給食課では給食センターにおける事故はなくスムーズに学校給食の運営をしています。
- 図書館では新システムに対してのプロポーザルが終わり、8月1日のスタートに向けて取り組んでいます。6月13日には伊吹小学校図書室の大改造を実施しました。今後、総合的な学習の時間の中で活用されることに期待します。

- 委員 : 問題行動として色々上がっていますが、日々の学校生活の中で問題が起きた時の対処はどうするのですか。保護者に連絡したり、クラスの中で話し合ったりするのですか。保護者を含めて被害者と加害者が話し合うことはあまりないのですか。
- 事務局 : 保護者と一緒に話をすることが大事ですので、そのように対処しています。関係が難しいようですと、学年主任教諭や生徒指導教諭と一緒に対応しています。
- 委員 : 幼稚園と保育園では教育方針的なものにかかなり差があるように感じます。善悪の判断は幼稚園、保育園時に身に付けておくべきものですね。それが出来ていない場合、学校から幼稚園にお願いするとか、そういうことはあまりないのですか。
- 事務局 : 校長会で校長と園長が一緒になってテーマを決めて話し合ったり、連絡をするなどしておりますし、その中で、学校の中での問題に対して話し合うようにしています。教員レベルで言いますと、米原幼稚園と米原小中、かなん認定こども園と河南小中は、事業として10年以上連携しています。なかなか、その都度というのはやっておりませんが、必要かなと思います。
- 委員 : 問題行動について県へ報告するのですか。
- 事務局 : いじめについては全て報告します。
- 委員 : 米原公民館にある図書室の現状を教えてくださいませんか。
- 事務局 : 新規の購入等はされていません。今現存している図書を利用していただいています。
- 委員 : 中学生が勉強しにくい状態になっているようでした。
- 事務局 : 近いうちに、図書館と生涯学習課と公民館と一緒に協議の場を持ち、現状の課題を把握していきたいと思います。
- 事務局 : 一昨年協議の対象になっておりまして、前年度に公民館と5回協議したうえで、米原公民館の公民館図書室を多目的図書館という名称に変えました。旧町の時から持っていた古いものについては、生涯学習課を通して除籍しました。近江図書館から貸付していたものについては、近江図書館に返却していただき図書館の書架に並べています。米原公民館にはわずかな本が残った状態になっています。
- 委員 : 最近高校生の悲惨な事件が新聞で記事になっていますが、保育園も含めて小中学校の教育の中で、命に関わる教育をどこで押さえればいいのかと思いました。
- 事務局 : 小学校では生活科の中で自分の命は、父、母、祖父母から授かってきた。命のバトンを受け継いできたという教育活動をします。それと共に全教育活動の中で、人権教育を基盤とした活動として自尊感情を高めていくこと。自分を大事に思う心は、他人も大事にすることに繋がりますので、そこを意識しながら教育活動をしていく必要があると思います。普段の授業の中で、認め合うとか、支え合うという場はつくっていけるとと思いますので、意識しながら取り組んでいきたいと思っています。
- 委員 : 命と言わないまでも、人に嫌がることをすることが悪いことだという自覚がないですね。人の物をごみ箱に捨てて、怒られたら泣くけど反省は全くしていない。謝りにいくのは保護者だけで子どもを連れて謝りにいっていない。そういう現象が凄く出てきていて、幼稚園や保育園の時に人に嫌がることをしてはいけないと教える事の必要性を感じています。
- 委員 : 学校ではそれぞれ命の指導や、問題が起きた時の指導の仕方も配慮されていると思います。
- 委員 : 学校は基本的に発達段階に応じた指導をするべきでしょう。保育園、幼稚園、小中学校での連携はしていますが、まだまだ課題はあります。保育園、幼稚園にもここまでの指導をお願いしますとはっきり言ってもいいと思います。
- 委員 : 子どもに親の姿を見せるということは大切だと思います。
- 委員 : 自分の為に両親が謝ってくれることは、自分のことを大事に思っていてくれるからできることであり、その中で自分のことを大事にしてほしいと思いました。問題行動はやはり難しいと思います。目につかないところでも、まだまだ大なり小なりあると思います。本人はいたずらのつもりでやって、それほど罪悪感がな

い。これも困りますので繰り返し指導が必要だと思いますし、命に関わる問題については厳しく指導していただきたいです。家庭と学校の両方で指導していくことが必要かなと思いました。

通学について、先日長岡の信号で高校生の自転車と車の接触事故がありましたので、中学生が渡る信号では十分気を付けてほしいと思いました。

事務局 : 関係するところは、河南中学校の通学路で、工事の関係で丹生川橋を止められましたので通学路から一旦国道の方に出て、国道沿いの道を横断することになりますし、双葉中学校では、こども園に送迎する保護者の車が通る場所がありますので、学校としても注意しています。

委員 : 6月1日から自転車に対しての交通ルールが厳しくなりました。これを契機に、車両に乗った本人が乗った時点で責任を負うことで、指導の徹底を図る必要があります。

委員 : ここひと月くらいで夏休みに入りますが、子どもの安全に関わって指導をお願いします。

5 議案審議

議案第52号 米原市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について 【教育総務課】
原案承認

議案第53号 米原市教育委員会会議傍聴規則の一部を改正する規則について 【教育総務課】
原案承認

議案第54号 米原市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 【教育総務課】
原案承認

議案第55号 米原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則の一部を改正する規則について 【教育総務課】
原案承認

議案第56号 米原市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について 【教育総務課】
原案承認

議案第57号 米原市奨学資金貸与選考委員会設置規程の一部を改正する規程について 【教育総務課】
原案承認

議案第58号 米原市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱について 【学校教育課】
原案承認

議案第59号 米原市就学指導委員会委員の委嘱および任命について 【学校教育課】
原案承認

議案第60号	米原市立学校給食運営委員会委員の委嘱および任命について	【学校給食課】 原案承認
議案第61号	米原市図書館協議会委員の任命について	【図書館】 原案承認
議案第62号	後援等名義使用承認（後援）について ○『こども未来プロジェクト』～未来へのカギを見つけだせ！！～	【学校教育課】 原案承認
議案第63号	後援等名義使用承認（後援）について ○平成27年度 滋賀県第5ブロック学校保健研究大会	【学校教育課】 原案承認
議案第64号	後援等名義使用承認（共催）について ○平成27年度(2015年)度滋賀県中学校英語弁論大会第5ブロック大会	【学校教育課】 原案承認
議案第65号	後援等名義使用承認（共催）について ○滋賀県立安土城考古博物館第52回企画展 「大湖北展－伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝－」	【歴史文化財保護課】 原案承認
議案第66号	後援等名義使用承認（共催）について ○伊吹山ユウスゲまつり	【歴史文化財保護課】 原案承認
議案第67号	後援等名義使用承認（後援）について ○「この出会いにときめきParty」	【生涯学習課】 原案承認
議案第68号	後援等名義使用承認（共催）について ○第18回近畿地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会滋賀大会	【学校教育課】 原案承認
議案第69号	後援等名義使用承認（後援）について ○映画『マザ・レイク』製作	【教育総務課】 原案承認

6 報告事項

- | | |
|--------------------------|---------|
| (1) 米原市人権教育推進員の委嘱の変更について | 【生涯学習課】 |
| (2) 後援等名義使用承認（後援）について | 【生涯学習課】 |
| ○平成27年度こども水球教室 | 【生涯学習課】 |
| ○第16回近江カップ少年サッカー大会 | 【生涯学習課】 |
| ○第34回滋賀県スペシャルスポーツカーニバル | 【生涯学習課】 |

(3) 平成 27 年度全国学力・学習状況調査にかかる米原市の自校採点の結果および今後の取組について 【学校教育課】

委員 : 自校採点の傾向は大体分かりますが、結果と日々の授業とどう結び付けるか大変難しいと感じます。例えば、報告資料の 1 ページにこれまでの授業改善などの成果と今後の取組の中で、「問題の解き方を口頭で説明させてきたため、数学の記述問題に対応できるようになった。」と記載がありますが、この意見で全部通すことは無理だと思います。「数と式」、「図形」、「関数」の領域の中で、この教材の時は、この指導が望ましいとか、その辺りの要求をするのにも、学校は小規模で数学担当教員が少ないので 2、3 人でディスカッションしてもなかなか纏まらない。各学校に下ろしても先生だけでは限度があります。米原市で組織的に高められるといいと思います。県の研究会は年に 1、2 回ですし、個人で指導法の方策を考えていかないといけない。どう指導力を身に付けてもらうのか、どの先生も一生懸命やっておられると思うのですが、子どもの学力差があります。50 分授業でどう組み立てるか永遠の課題だと思います。問題を読み、図を書かせ、説明させる。そして何を求めるのか推測させるとか、上辺だけの授業をしていると読み取る力が必要な応用問題ができなくなる。その力を付けるのに、どのような授業を心がけたらいいか。中学校は教科によって差がありますので、これができると米原市は素晴らしいなと思います。あまり型にはめるのも良くないのですが、ある程度 50 分の授業の持ち方を米原方式でできればいいと思います。

委員 : 学校訪問時に特に感じたのは、各授業の目標や、学習の流れ、振り返りの時間の確保等について、共通意識は持っているが取組が徹底されていません。学校で授業の組み立て方を統一してはどうか、市でも提案していくべきかと思います。福井の学力が高いのは、複数の学年を持つことによって複数の先生と授業の組み立て方を研究していることが強みだと思います。各校に 1 人、2 人しかいないところで盛り上がりがないという弱さをどう克服するかが課題です。市の研究会や主任会の中で検討しようと思っても年に 1、2 回程ですし、教育センターの講座の中に、国語、数学、社会、理科についても毎年入れるようにしないといけないのではないのでしょうか。

事務局 : 授業改善していくことが仕事だと思っています。

委員 : 国語の新任の先生が前の授業の振り返りとして、各個人に、自分はどのような学びをしたのか発表させていました。自分の言葉で前の時間に学んだことを話す、そういう時間は大切です。

事務局 : 国語科で相談しながら取り入れたとのことでした。統一されたことを市学校教育課として提案していく必要があります。授業力についてはその人の蓄えたものによって変わってきますので、訪問によって直接指導することと、素晴らしい事例を紹介していくことで刺激を受けてもらい切磋琢磨してもらうことは、必要かと思います。

委員 : 学校の中で人の授業を見に行つて真似するとか、見てもらつて意見をもらうとか、授業改善を考えるうえで分かりやすい。授業に関わつて先生同士の交流の場を持ってもらうといいのではないかと思います。

事務局 : 米原小学校の学年主任が新任教師に授業を見せていましたし、そういう動きが出てきているのは確かです。

委員 : 小学校の担任は、毎年同じ学年を持つようになっているのですか。

事務局 : 学校の事情によります。

委員 : 米原小校長が「校長先生お話し会」として各教室を回っていると聞いています。そこで教師の状況など把握しておられるのかなと思います。

事務局 : 今年は全体的に授業に向かう子どもの姿勢は2、3年前に比べると落ち着いてており、いい状況でスタートしています。

7 質疑応答

8 その他

9 閉会

次回

第7回定例教育委員会 7月23日(木)午後3時～

山東庁舎3階 第2委員会室

以上をもって第6回定例教育委員会を午後4時50分に終了した。